令和４年１０月２０日

下瀬谷中だより

特別号

横浜市立下瀬谷中学校

校　長　　村上　直幸

全国学力・学習状況調査の結果を受けて

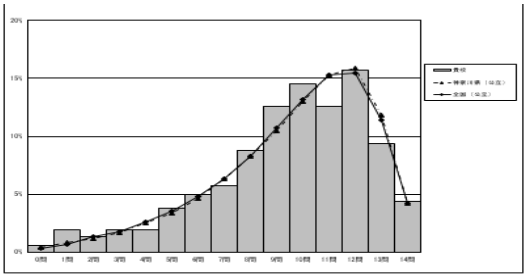
文部科学省のホームページには全国学力・学習状況調査の目的として、①教育施策の成果および課題の検証と改善、②学校での教育指導の充実や学習状況の改善、③教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立、の３点をあげています。現在、調査対象は小学６年生と中学３年生、教科も国語と数学と理科の３教科に限られていますが、各教科に対する取組状況や到達状況、さらに教育に関わる日常生活の状況等がエビデンスとして示されます。

学校としても結果を真摯に受け止めて今後の教育活動に生かしていきます。ご家庭でも全体の傾向やお子様の個人票（３年生のみ）を参考に学習や生活に対する現状や今後について話し合うきっかけにしていただければ幸いです。

全国学力学習状況調査

５月に３年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」から神奈川県の平均、全国の平均を比較したデータが出ています。「国語」「数学」「理科」「生活意識調査」が実施されましたので、その中から一部を抜粋して掲載いたします。

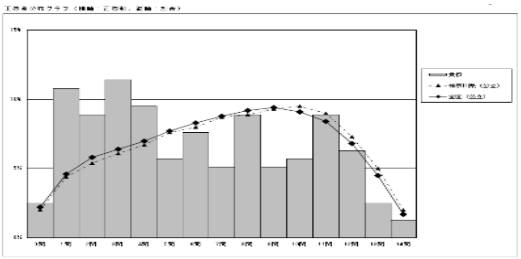
【国語】



	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
横浜市立下瀬谷中学校	159	9.5 / 14	68	10.0	3.1
神奈川県（公立）	61,393	9.7 / 14	69	10.0	2.9
全国（公立）	891,820	9.7 / 14	69.0	10.0	2.9

生徒質問紙の「４９．国語の勉強は好きですか」「５０．国語の勉強は大切だと思いますか」「５１．国語の授業の内容はよく分かりますか」「５２．国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の設問に関しては、それぞれ、３０.８％、７３.１％、３９.７％、７３.１％（全国は、２４.２％、６３.１％、３１.９％、５５.６％）の生徒が「当てはまる」を選択していて全国の平均を上回っています。一方で、意見文を書く問題（資料の一部から情報を引用し、自分の考えを書く）の正答率は３７．７％（全国は４６．５％）と低い結果となりました。また、漢字の書き取りの問題にも課題が見られました（正答率は本校が７３．６％、全国が８２．１％）。これらの結果を踏まえて、今後の授業では、日常生活に生かせる知識の習得を目指すとともに、わかりやすい文章を書くための構成の工夫や、自分の考えを的確に伝える力を身につける授業展開を目指します。

【数学】



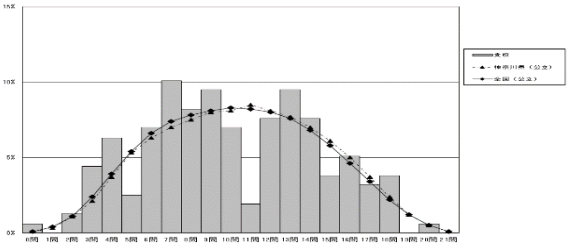
	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
横浜市立下瀬谷中学校	158	6.1 / 14	43	6.0	3.8
神奈川県（公立）	61,393	7.4 / 14	53	8.0	3.6
全国（公立）	891,913	7.2 / 14	51.4	7.0	3.6

生徒質問紙の「５７．数学の授業で学習したことを，普段の生活の中で活用できないか考えますか」の設問に関しては、25.6％（全国は、16.4％、神奈川県は、16.9％）の生徒が「当てはまる」を選択していて全国の平均を上回っています。

授業では、基礎学力の定着を目標としていますが、よりわかりやすい授業を目指します。

また、問題別では、『方程式』や『関数』の問題で全国と比較して大きく下回っています。今後とも基礎基本をさらに充実させていきたいです。

【理科】



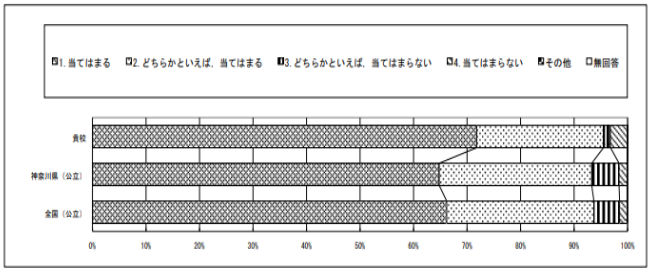
	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
横浜市立下瀬谷中学校	158	10.0 / 21	48	10.0	4.3
神奈川県（公立）	61,439	10.5 / 21	50	11.0	4.1
全国（公立）	892,585	10.4 / 21	49.3	10.0	4.1

生徒質問用紙の「61.理科の勉強は好きですか」「62.理科の勉強は大切だと思いますか」「63.理科の授業の内容はよくわかりますか」「64.学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」「65.学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の設問に関しては、それぞれ、49.4％、46.2％、43.6％、37.8％、37.2％（全国は 32.2％、36.9％、30.9％、20.2％、24.8％）の生徒が「当てはまる」を選択していて全国の平均を大幅に上回っています。

問題別では「1(1)日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する」の正解率が全国平均を大きく上回る一方で「3(1)分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す」「7(1)液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する」などの化学分野に関する問題で全国と比較して下回っています。これらの結果を踏まえて、今後の授業では、実験などの実体験を重視し、化学的な思考力の育成を目標として、実験の結果やそれらわかることについて自分の考えをまとめるなどし、自然で発生する事象や現象についての理解を深める授業展開を目指します。

【生活意識】

質問番号	質問事項										
（18）	友達と協力するのは楽しいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	71.8	23.7	1.3	3.2						0.0	0.0
神奈川県（公立）	64.8	28.5	5.1	1.5						0.0	0.1
全国（公立）	66.2	27.5	4.8	1.4						0.0	0.1



本校では人とのつながりを大切にする指導を実践しています。生活意識調査では、「友達と協力するのは楽しいと思いますか」という質問に対し、本校の３年生は県、全国と比較しても多くの生徒が肯定的な回答をしています。コロナ禍ですが、《本校学校教育目標》「【開】様々な人との関わりを通して、広い視野で行動しようとする態度」が育まれていることが分かります。